



新村の人口・世帯数	令和 4 年 11 月 1 日現在
世帯数	1,321 戸
男女	1,522 人
合計	1,632 人
	3,154 人

### 歩こう新村的里

## 新の里ウォークラリー開催!!

10月22日、曇り空で少し肌寒いなか、新の里ウォークラリー2022が開催され、小学生の家族や松商短大生など約40名が地区内を歩いて巡りました。

参加者はスタート地点の新村公民館に集合し、全体の諸注意などの説明を受けた後、ラジオ体操で身体を



スタートを前に元気良く!

暖めました。小学生が体操のお手本となり、賑やかに出発の準備ができました。今年度は新村公民館をスタートし、小野神社や芝沢小学校・高綱中学校付近を通る、主に地区の東側を巡るコースでした。参加者はグループごとコースに設けられたクイズに挑戦しまし



答えは何だろう?

た。クイズには「中学校のテニスコートはこの地区?」や「中学校の南にある小高い山は何の山?」など、地元住民でも解答が難しいものもあり、参加者の頭を悩ませていました。畑作業をしていた住民の方に直接質問し答えを教えてくださいました。グループもあつたようです。

ゴール後には、クイズの答え合わせをし、参加記念品を受け取りました。今年もコロナ禍が続く、本来のウォークラリーとして開催は出来ませんでした

が、世代を超えた参加者同士の交流が図られ、有意義なひとときとなりました。



会話を楽しみながら

### 秋のいち日 〜下新北の 史跡を訪ねて〜

10月29日「新村歴史探訪」が開催され、24名の参加者で下新北地区を巡りました。

下新北公民館に「くれき川の木流しジオラマ」やパネル展示、街道やせぎの説明を赤澤久喜さんにしていただきました。

屋外に出て、下北観音堂の「橋供養観世音菩薩」「馬頭観音」などを見学、くれき橋脇には「不動明王石造」もあり、木流し番屋もあつたことを知りました。

国道脇の道祖神と下新駅、旧御庚申堂の石碑郡の説明を柳澤孝雄さんにしていただきました。刀利社では、毎年3月には法要をしているとのこと。管理されている、山下陽一さんに説明をしていただきました。

下新には「山下塾」があり近隣からたくさんのお塾生が通っていたとのこと、教育に熱心な地区であつたそうで、長岡壽さんに教えていただきました。



地域の宝 再発見!

## 八束穂

昨年の9月以降、電気料金値上げが続いて、現在も落ちて、着く様子がない▼先頃政府は家庭に対する負担軽減策を閣議決定

したそう。このようなバラ撒きの施策ではなく、わたしたちの生活に欠かせない、本格的な電気と電力確保問題を考えたい▼値上がりの原因はいくつかあるが、石炭や液化天然ガス(LNG)の輸入価格の高騰がある。これらエネルギーの自給率は、僅か6%という。資源の乏しい我が国は価格面でも安全面でも本心に心細い。また近年、老朽化した火力発電所の休廃止が増加して電力不足の危機も迎えている▼わたしたちの生活や産業・経済の維持発展には電力量確保は、絶対欠かせない。昼夜の別、天候の別、季節の別で発電量が左右されてはならない。更に自然破壊や景観の悪化も避けるべきだ。脱炭素社会も視野に取り組む必要がある▼これら実現には、困難さが伴うが、人々が安心して暮らせる恒久的な施策を打ち出すべきだ。

### おでかけウォーキング

9月29日、おでかけウォーキングが参加者7名で実施されました。今回は電車を乗り継ぎ北松本駅で下車、白板地区を起点に城山公園へ放光寺・秋葉神社等を巡りました。各々歴史を刻む由緒ある場所で、そこに佇むと心が安ら



北アルプスの眺望

ぎ、落ち着きを感じる事ができました。訪れた中で、城山公園の起源は天保13年(1842)に松本城主戸田光庸が犬甘城址に桜や楓を植樹して領民に開放したのが始まりとされたと知りました。現在も市民の憩いの場になっているのですが、当時の為政者の計らいに感懐深いものがありました。

### ものぐさ大学

「白板地区を巡る」



黒姫の大自然に包まれて

な高原に佇むこの美術館は、他にも松谷みよ子など多くの童話作家の作品も鑑賞できます。館の配慮で「ものぐさ太郎」の紙芝居のパネルも展示されており、日本古来の民話の懐かしく心暖まる世界も堪能できました。改めてエンデの言葉を噛みしめています。「力を抜いて初めて与えられるもの、うまくいくものがある。あれこれ強引にいじくつている限り、なにひとつうまくいかないものだ」続いて訪れた一茶記念館での数々の俳句の世界にも緩かで自然な風情を感じ、心地良い初秋の一日となりました。

### 美術館巡り

黒姫童話館・一茶記念館

9月22日、参加者20名で信濃町の黒姫童話館、高山村の一茶記念館を訪れました。コロナ禍での不自由な生活の中、多くの読者を魅了する童話「モモ」。作者のエンデはドイツの国民的作家ですが、日本の文化を敬愛し何度も来日しました。そこで親交を深めた黒姫童話館に多くの資料を寄贈し、今も「エンデの世界」としてそれらが展示されています。黒姫山を間近に望み、森と草原の広がる自然豊かな

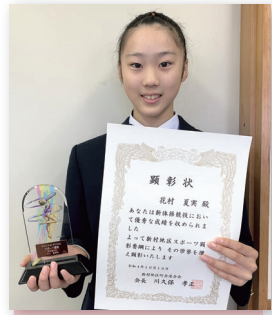
な高原に佇むこの美術館は、他にも松谷みよ子など多くの童話作家の作品も鑑賞できます。館の配慮で「ものぐさ太郎」の紙芝居のパネルも展示されており、日本古来の民話の懐かしく心暖まる世界も堪能できました。改めてエンデの言葉を噛みしめています。「力を抜いて初めて与えられるもの、うまくいくものがある。あれこれ強引にいじくつている限り、なにひとつうまくいかないものだ」続いて訪れた一茶記念館での数々の俳句の世界にも緩かで自然な風情を感じ、心地良い初秋の一日となりました。

### スポーツで輝く新村の星!

10月16日、福祉ひろばで令和4年度新村地区スポーツ顕彰状の授与式が執り行われました。地域住民のスポーツ活動の意欲の向上と関心を高めることを目的に、県大会以上のスポーツ大会に出場して優れた成績をあげた選手や団体を表彰しています。例年であれば運動会の開会式に併せ執り行いますが、コロナ禍で中止となったため、関係者のみで挙行いたしました。今年度は5名の方が受賞されました。



菅澤莉桜さん(芝刈小4年・右) 全日本卓球選手権長野県予選 準優勝・全国ベスト16入賞  
菅澤結月さん(芝刈小2年・左) 全日本卓球選手権長野県予選 優勝・全国予選リーグ2位敗退



花村夏実さん(高網中2年) 全国中学校新体操選手権 第11位

花村夏実さんは3歳から新体操を始め、リボン・クラブ・ボール・フープの4種目に取り組みんでいます。「全日本ジュニアを控えているので、練習に集中し、次の試合につながる演技をした」と話してくれました。



小林 航さん(社会人・右) 長野県陸上競技選手権大会 400mハードル 第2位  
小林南実さん(社会人・左) 長野県陸上競技選手権大会 女子走り幅跳び 優勝

小林南実さん、航さん姉弟は、子供の頃に始めた陸上競技を社会人となった今でも継続し、活躍されています。各々の種目で自己ベスト更新を目指して日々鍛錬されています。いずれの方の成績も素晴らしいと地域住民の誇りです。

### 4年ぶりの学園祭!!



大輪に感動!

10月15・16日に松本大学で「梓乃森祭」が開催されました。一般公開はせず学内のみでの開催でありましたが、多くの学生がゼミや団体の展示やパフォーマンス、そしてアーティストやお笑い芸人のライブに参加して盛り上がりました。後夜祭での花火は、学内だけではなく大勢の地域の方々にも観ていただけました。

### 秋のひとときひととき

10月26日、松本大学地域づくり考房「ゆめ」の茶房ひとときが約20名の参加者で開催されました。コーヒーを嗜み、学生と住民がゆったりと交流する活動です。3ヶ月ぶりだったので学生・住民共に待ち侘びた開催となりました。楽器演奏や踊りのパフォーマンスなどの数々の企画が大盛況となり、笑顔の絶えない時間となりました。



音色に癒されて